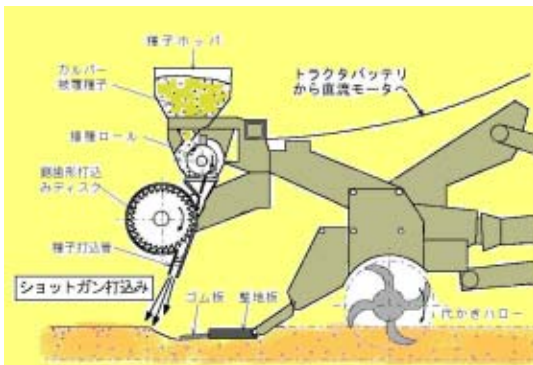


代かき同時打ち込み式点播機を用いた水稲湛水直播栽培法

米価の低迷、農業労働力の減少、大区画圃場整備等、稲作の省力・低コスト化に直播栽培の導入が不可欠となっている。代かき同時打ち込み式点播機を用いた水稲湛水直播栽培（点播直播）は播種精度が高く、株状に播種されることから移植に類似した生育特性を示し、他の播種方式より安定した生育を示す。



播種作業の状況

株形成の状況

図1 点播機の概要図

代かきと同時に土中に種子を打ち込む（播種時の水深は1cm未満、事前に代かき・均平作業を行う）

点播栽培の特徴

株の形成 移植栽培に類似した生育特性

耐倒伏性の向上 適正な播種深 0.5~1.0 cm の確保により耐倒伏性が向上

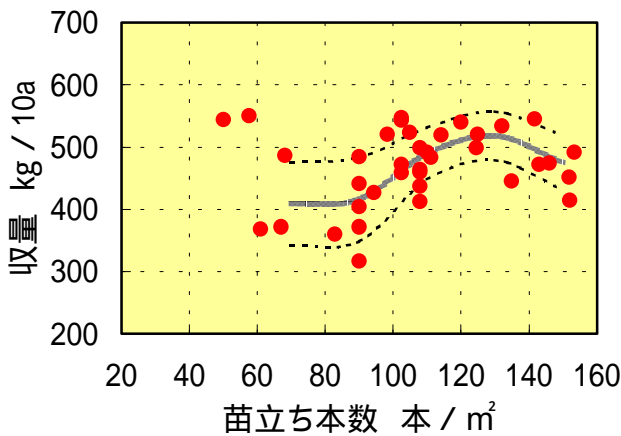


図2 苗立ち本数と収量の関係(H11~14あきたこまち)
実線は、苗立ち本数20本範囲毎の収量の平均値及び点線はその標準偏差

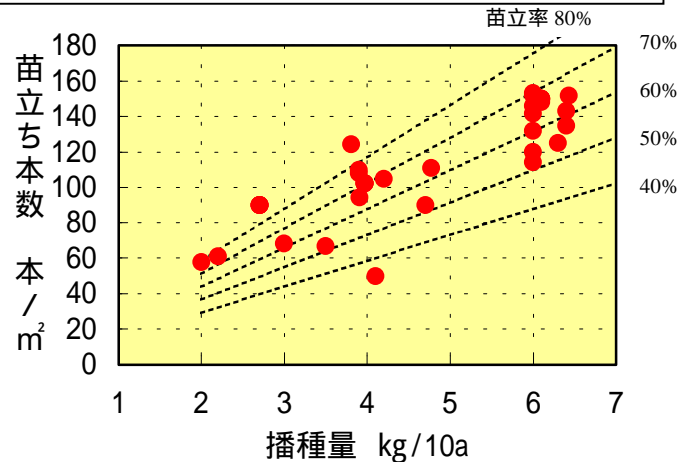


図3 播種量と苗立ち本数(H11~14あきたこまち)
点線は、苗立ち率80,70,60,50,40%を想定した苗立ち本数の理論値

管理のポイント

播種量 乾籾 5 kg / 10a を目標に播種する

苗立ち本数 目標苗立ち本数 100~120 本 / m² の確保により、480~500 kg / 10a の収量が期待できる

播種後落水管理 出芽・苗立ちの向上のため、播種後出芽始めまで（約7~14日間）落水状態で管理

直播栽培導入のねらい

導入対象	直播栽培導入のねらい
個別経営	水稲規模拡大 複合作目拡大
集落営農等の営農組織	省力化、軽労化、育苗労力の解消

担当研究室 農産部 水田作研究室

〒024-0003 北上市成田20-1 TEL. 0197-68-4412 FAX. 0197-71-1081